

環境の都ニュース

2017.4.1 NO.91

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

「脱炭素（ゼロカーボン）」社会に向けて エコな生活を考える



無農薬で育てるスナップエンドウ



庭のクリスマスローズ

環境の都・長岡京市の山裾、竹藪の近くに住まいして50年になります。さえずり声の日々上手く長くなるウグイスに励まされ今日も庭仕事ができる幸せを感じています。

私の所属するエコプロジェクトは太陽光など、再生可能エネルギーを利用した発電や省エネ、ごみの削減とリサイクルなど地球の温暖化（気候変動）防止につながる「エコ生活」ががまんすることなく出来るよう啓発活動と実践をしています。

この5年間で4,000人の園児、小学生から市民の皆さんと省エネ・温暖化防止に関するお話がたっぷりでき喜んでいきます。また、長岡京市のステップアップ・チャレンジ会議 省エネ推進チームで「省エネナビ・モニター制度」運用に協力し、家庭での省エネ活動に取り組んでいます。

気候変動は地球規模で発生し、深刻な熱波、洪水、大型台風、干ばつや海面上昇等を引き起こしています。日本では100年あたり1.14℃気温上昇が起こっており、経験したことのない集中豪雨と洪水で大きな被害がありました。昨年（2016年）の夏は熱中症の被害が多く出ました。

動植物の生息域の移動や国内にいなかったウイルスを媒介する蚊が生息していることが確認されています。私たち市民で何とかできることはないかと思えます。IPCC第5次報告書はこの様な温暖化は疑う余地はない、また温暖化は人間の活動が原因であることは疑いがないと報告しています。このままでは4.8℃上昇シナリオでより大変なことになる、対策すれば0.3℃シナリオに抑えられるとされており人類（私たち）はどのような選択をするのか各国に問われています。幸いなことに再生電力は火力発電（約10円/KWh）に比べコストは1/2～1/3まで安くなってきています。

これまでは省エネの促進、再生可能エネルギーの普及を通して「低炭素」に移行していくとしましたが、今は「脱炭素」を実現することが求められています。そのため、再生電力100%の地域や国を目指してゼロカーボンの社会・経済に移行していく大きな転換期にあると考えられます。

2050年には化石燃料が使えないゼロカーボン社会になります。どのような社会・経済にして子供や孫たちに手渡していくのか真剣に考え即実行に移し、立ち止まることは許されません。それでも省エネ、省資源化からの取り組みを足元から進め化石燃料から脱却しゼロカーボンの街づくりに挑戦していきたいと思えます。「パリ協定」の精神を学び事実を正しく知って足元の地域からチャレンジしていきましょう。

エコプロジェクト 中田利享



ブルーベリーとメジロ

里山再生 PJT 春の西山は花や虫でいっぱい！ 一番いい季節です。

平成29年度の西山ファミリー環境探検隊がはじまります。

日時 平成29年4月22日（土）9時30分

西代里山公園管理棟前集合

内容 観察のあと、西山キャンプ場でカレーの昼食です。

自然観察指導員京都連絡会の皆さんに案内していただきます。

申し込み先 西山森林整備推進協議会（環境政策室内）

955-9542 FAX 951-5410

詳細は市民広報4月1日号をごらんください。（写真は平成26年春の部）



PJTリーダー 加藤克巳



「生きものの移り変わりから小畑川を見つめよう！」をテーマに「環境教育ミーティング」（3月16日）を開催しました。

講師は、WWF（世界自然保護基金）会員、NACS（日本自然保護協会）会員、元日本野鳥の会会員、元京都野鳥の会会員の 柘彰さんでした。

お話の内容 小畑川は、長岡京市内を流れる最大の河川です。昔は「暴れ川」と呼ばれ、更に長岡京に都があった時代は運河として使用されていました。柘さんのお父様が幼かった頃、小畑川は何度も川が決壊し、住んでいた地域（古市）は大洪水になり避難する時は泳いでいたとよく話を聞かれたようです。その小畑川は多くの生きものを育んできました。



柘さんが幼かった頃から今までの約 50 年間に亘り、小畑川の生きものたちはどの様に移り変わり、それと共に小畑川を取り巻く環境がどの様に変わってきたのかを映像を使ってお話し頂きました。多くの生きものが姿を消しましたが、その様な中でもひたすら一生懸命に生きている鳥や魚たちを見ると、私たち人間に何かを諭しているようです。参加者からも活発な発言があり、いっしょに小畑川が抱えている課題を考え、持続可能な社会に向かって自然環境をどの様に守っていけばよいのかを話し合い、考えることができました。

竹林再生 PJT



井ノ内竹林で椎茸栽培に再挑戦！



竹林再生 PJT リーダー 湯川 圭造

私どものボランティア活動も 12 年になります。つらい作業には楽しみも必要です。その一つとして竹林整備の合間を見て”キノコ栽培”に取り組んでいます。4 年前には手探りで金ヶ原の竹やぶで椎茸栽培に挑戦し、今年に数回立派な椎茸が収穫できます。その後、なめこ栽培にもチャレンジしていますがこちらは残念ながらまだ成果



物がありません。今回、新しく手入れし始めた井ノ内の竹林で椎茸栽培に再挑戦

しています。楢木（ほだぎ）は金ヶ原のいこいの森から切出した 1m ほどのコナラ 70 本。直径 20 ~ 30cm 前後のコナラの大木 3 本の切出しと軽トラ 2 台分もの楢木を井ノ内まで搬入する作業はまさに大汗もの。数後日、メンバーの力も借りて延べ 3 日をかけて 3,000 ヶ余りの菌打ちを行い、半日影の好立地に楢木を立てかけて一連の作業を終えました。汗が報われるのは 1 ~ 2 年後。山盛りの収穫で会員のみならず椎茸のバター焼きで一杯やれば最高です！お楽しみに～！

エコ PJT

2016 年度のエコプロジェクトの活動を報告

PJT リーダー 田原誠一郎

エコプロジェクトでは 2016 年度に、小学校の「放課後子ども教室（すくすく教室）」を 12 回、保育所でのイベントを 2 回、市民を対象としたイベントへの参加を 4 回、家庭のエコ生活について話し合う「省エネ相談会」を 2 回行いました。小学生 535 名を含む、約 850 名の子供や市民の方々に参加していただきました。テーマは、発電に関する「環境科学あそび」、竹など「自然の材料を利用した工作」や、使用済み牛乳パックを使った「リサイクル工作」です。「環境科学あそび」では、1 年生から 6 年生までそれぞれの学年に合わせたテーマを実施しており、児童は「学び・試し・自分で工夫をして遊ぶ」ことを体験しています。メンバーも一緒に楽しむことで、子供たちが年々成長していることが判り、体験することの大切さを教えてくれます。

私たちと一緒にこのやりがいのあるボランティア活動を経験してみませんか。



「野菜電池の実験」

野菜と銅版とマグネシウム片をつないでできた電気を電子メロディーで確認します。子供たちは大きな音で鳴るよういろいろな工夫しています。

冬の屋外のすくすく教室は光明寺北側の竹やぶで開催しています。暖かい焚火を囲んで、環境や竹の勉強を手始めに、竹伐りやおもちゃ作りなどを体験し、メンバー手作りの遊具で楽しんで貰います。普段、めったにお目に掛れない竹炭を使った焼き餅や焼き芋なども皆さんで味わって頂き、喜んで頂いています。時には、雪景色の竹やぶや竹林の隙間を通る日の光と煙の織り成す自然の芸術も楽しむことができます。講座のメニューは、環境紙芝居、竹炭焼き体験、竹伐りと一輪挿し作り、弓矢やゴム鉄砲遊び、手作りの玩具遊び（知恵の輪、カタカタ落とし等）、折り紙 etc. で、人数に合わせて組み合わせています。今年の冬の教室には以下の4校が来てくれました。1月14日は雪のちらつく真冬の天気で欠席者も出ましたが、他の3回は厳冬期にしては過ごし易い好天に恵まれました。



- ・1月14日 第三小学校（児童4名、保護者・コーディネーター10名）
- ・1月28日 第四小学校（児童5名、保護者・コーディネーター6名）
- ・2月4日 第十小学校（インフルエンザによる学級閉鎖で中止）
- ・2月11日 長法寺小学校（児童7名、保護者・コーディネーター6名）
- ・3月4日 第十小学校（2/4の仕切り直しで、児童6名、保護者等4名）

みなさんも冬の竹林で自然の心地よさを味わい、リフレッシュしてみませんか！！



花を咲かそうPJT

恒例の正月飾り作り

PJTサブリーダー 奥西弘武

昨年も押し詰まった12月26日に正月飾りの頒布会を行いました。今回はサポートセンターを会場とし、メンバーによる飾り付け実演と予約をいただいた方にキットを持ち帰っていただくだけの内容にしました。正月飾りを原価提供するのが目的ですが、準備作業に参加したメンバーにとっては知恵を絞り、楽しみながら行うことに大きな意義を感じるからです。竹林から太い孟宗竹を切り出す、規定寸法に切断する、竹に飾り縄を7巻きする、あらゆるコネをつかい10種の飾り花を採取する、キット構成し袋に詰める。これらの作業はベースキャンプ地である河合竹林で延べ30人が4日間をかけて行いました。12月25日に54キットを完成し、たき火を囲み昼食を皆で食べる時の達成感こそフィールドで活動するメンバーにとっての真骨頂なのです。



市の施設にも寄贈しました。



12月とは思えない竹林での昼食風景



飾り付け指導も板についています。



京 錦 庵
株式会社 京味食品

高級豆腐、生麩等

代表取締役 石 井 進



〒617-0814
京都府長岡京市今里更ノ町15-6
TEL(075)957-1064
FAX(075)956-5629
携 帯 090-5124-8581
E-mail: ishiisusumu2000@yahoo.co.jp

不動産売買・賃貸・仲介・管理

「心こそ大切」信頼の

渡辺住販

Watanabe - Juhan

代表者 渡辺 久司

京都府知事(8)7212号

〒617-0814 京都府長岡京市今里蓮ヶ糸42-5
Tel.075(953)2717 Fax.075(954)7912



「奄美群島国立公園」が誕生！

平成 29 年 3 月 7 日、「奄美群島国立公園」が、国内 34 カ所目の国立公園として新たに指定され、誕生しました。



アマミノクロウサギ

鹿児島県の南部に位置し、奄美大島、徳之島、沖永良部島、など多数の島々で構成されています。国内最大規模の亜熱帯照葉樹林が広がるとともに、大陸や日本本土との分離・結合を繰り返した島々の地史を背景に、アマミノクロウサギをはじめとする多種多様な固有で希少な動植物が生息・生育し、世界有数の速度で今も隆起するサンゴ礁段丘、琉球石灰岩の海食崖やカルスト地形、世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟等多様な自然環境を有する地域です。〔環境省 HP から〕



哇海岸



ミヤコちゃんのエコまねが 作：船越 聡



NO.90 の
クロスワードパズル



答え・井伊直虎

	1	サ	2	ニ	3	シ	キ
4	カ	オ		5	シ	タ	
	メ		6	ワ	ン	ガ	7
8	ラ	9	イ	8	ト	ダ	ウ
10	ア	ラ	ソ	11	イ	ド	
11	イ	ク	ン		12	フ	ウ

エコ川柳

ボランティア 子どもと遊んで 15年 (T.H.)
 ポピュリズム 分断の熱 気温上げ (W.S.)
 寒苦鳥 刹那の為に 暖をとり (N.H.)
 クロウサギ ハブの脅威に 耐えて生き (A.N.)

2017 年 環境年間行事日程 直近版 (4 月～6 月)

共通、広報	環境教育	エコ (地球温暖化防止等)	里山再生・西山 F 環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう、等
4 環都ニュース発行 (4/1) 環都月例会議 (4/11)		エコ Me (4/18)	森林ボランティア (4/2) 森林ボランティア (4/16) 西山 F 探検隊 -1(4/22)	すくすく筍掘り (4/8,4/15,4/22,4/29) 市民筍掘り (4/22)	毎月曜日竹林整備 3PJT 合同会議 (4/20)	西山体育館・中央公民館 花にしき筍掘り (4/14) 緑のサポーター (随時)
5 環都 H29 年度総会・ 親睦会 (5/13)	環境教育 Me(5/18)	十小すくすく教室 (5/) エコ Me (5/16)	森林ボランティア (5/7) 森林ボランティア (5/21)	すくすく筍掘り (5/6) 市民筍掘り (5/6) すくすくいこの森 (5/13)	毎月曜日竹林整備 3PJT 合同会議 (5/17)	緑のサポーター (随時)
6 環都月例会議 (6/14) 環境月間ホテル鑑賞の夕べ (6/)	市主催環境講演会 (6/)	ゆりかご保育園環境行事 (6/7) エコ Me (6/20)	森林ボランティア (6/4) 森林ボランティア (6/18)	すくすくいこの森 (6/10) 川遊び (6/17)	毎月曜日竹林整備 3PJT 合同会議 (6/21)	緑のサポーター (随時) 体育館・公民館花植え

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。
 一口年間 1,000 円 (一口以上) あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。
 どなたでも参加できます。問合せは下記の江川まで。
 Tel.075-957-6169 E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

ホームページもご覧下さい。
 各 PJT の活動内容と写真などがあります。
 「長岡京市環境の都づくり会議」で検索してください。
<http://kankyonomiyako.jimdo.com/>
 事務所：多世代交流ふれあいセンター内
 〒617-0812 長岡京市長法寺谷山 13-1

編集後記

私達はこの歴史の都、長岡京市を「環境の都」にしたいと活動しています。皆様のご意見をお寄せ頂ければ、大変励みになります。「エコ川柳」の投稿もお待ちしています。